

大学名	熊本大学
------------	------

第63号 特集テーマ「学生支援」
 特集タイトル「みんなで支えるキャンパスライフ」

表題	大学祭のオンライン開催による学生のモチベーションアップと全世界への発信
-----------	-------------------------------------

熊本大学は令和3年10月30日(土)に大学祭(紫熊祭)をオンラインで開催しました。新型コロナウイルスの影響により、前年は中止となり、今回の開催も危ぶまれていましたが、実行委員の学生達の「コロナに対して不満をぶつけるのは簡単だが、今、自分達には何が出来るかを考えて実行することが重要。」との思いから、大学側とも検討を重ね、第5波の最中の令和3年8月にオンラインによる開催が決定しました。

実質2ヶ月弱の短い準備期間の中で、これまで経験のないオンライン開催に向けて学生達が一丸となって取り組み、当日は、ミス・ミスター熊大コンテスト、熊大コレクション(ファッションショー)、夜の筋肉祭“極”、サークル紹介等、様々な企画が配信され、ピーク時には最大600名を超える視聴者が、熊大生の渾身のパフォーマンスを楽しみました。



(フィナーレの後の実行委員全員での記念写真)



(夜の筋肉祭“極”)



(ミス熊大コンテスト)

取組による成果

- ①オンライン開催の特性を活かし、チャットによる視聴者の感想をリアルタイムで見ることが出来る、新しい大学祭の形を実現することが出来た。
- ②オンラインでの発信により、従来の来場者だけが楽しむ大学祭から、世界中の誰もが楽しめる大学祭へと発展させ、国立大学の取組を一般の方へアピールすることが出来た。なお、アーカイブ配信の視聴は1万4千回以上を記録している。
- ③実行委員の学生達は、コロナ禍という逆境においても、共に支え合って取り組むことにより、目標を達成出来るという大きな自信を得ることが出来た。
- ④実行委員の学生達が、準備や当日のパフォーマンスにおいて、コロナ禍で失っていた、生き生きとした表情を取り戻すことが出来た。さらに、その姿を観た在学生や一般の視聴者にも元気を与えることが出来た。

・第十回紫熊祭アーカイブ配信 <https://www.youtube.com/watch?app=desktop&v=bxYmy0aCXcl>